

今週（5月29日から6月2日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、週を通してレート水準が低位で推移した。

無担保コールO/N物は、オファーサイドの資金運用ニーズが強いなか、邦銀業態を中心としたビッドサイドの資金調達ニーズは限定的となった。レート水準は週初から徐々に低下する展開となり、31日には、月末要因により一部の取り手が不在となったことで、加重平均レートは▲0.071%まで低下した。1日以降は月末要因の剥落により、ビッド数は増加したものの、引き続きオファーサイドの資金運用ニーズが旺盛であったことから、レート水準は変わらず、▲0.07%台での出会いが中心となった。

ターム物は、ショートターム物を中心に▲0.075～▲0.055%近辺での出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、29日に544兆円程度でスタートし、30日には国債買入オペなどを要因に547兆円台まで増加した。その後、週後半には税・保険料の揚げや債券の発行を要因に大きく減少する展開となり、2日には535兆円前後まで減少する見込みとなった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、▲0.25～▲0.10%近辺での取引となった。足元では投資家の資金調達意欲が薄く、相場が上下し易い展開となった。

SCIは、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mと1Yゾーンが週を通して堅調に推移した。

6月2日に実施された3M物の入札は、按分落札利回り▲0.1603%、平均落札利回り▲0.1703%と無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも、落ち着いた展開となった。

短国買入オペは、30日に前回と同額の1,000億円でオファーされ、按分利回較差+0.004%、平均利回較差+0.004%と、こちらも無難な結果となった。

●CP市場

今週のCP発行市場は、月末週にあたり石油、機械、卸売など幅広い業態で大型発行が見られた。

市場発行残高は31日時点で25兆2,202億円と、4月末(24兆2,596億円)から9,606億円の増加となった。発行レートについては、前週に引き続き0%近辺での出会いが中心となっている。しかし、ロングターム物の案件では、日銀による政策変更の警戒感からレート水準にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
5/29 (月)	31,233.54	0.435	140.75	△ 0.062	△ 0.151	5,443,300
5/30 (火)	31,328.16	0.430	140.22	△ 0.064	△ 0.163	5,473,100
5/31 (水)	30,887.88	0.429	139.80	△ 0.071	△ 0.126	5,464,500
6/1 (木)	31,148.01	0.415	139.45	△ 0.070	△ 0.141	5,400,300
6/2 (金)	31,524.22	0.410	138.75	△ 0.072	△ 0.116	5,336,200

来週（6月5日から6月9日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
6/5 (月)	6月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)				5月のISM非製造業景況指数 4月の米製造業新規受注・出荷・在庫
6/6 (火)	4月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 4月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30)	30Y 9,000億円 6/7発行	交付税借入 13,000億円 6/15借入		
6/7 (水)	5月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 4月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)				4月の米貿易収支 4月の米消費者信用残高
6/8 (木)	1-3月期のGDP 2次速報(内閣府 8:50) 4月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 5月の景気ウォッチャー調査(内閣府)	TB6M 40,000億円 6/12発行	流動性供給 5,000億円 6/9発行	エネルギー 対策借入 7,900億円 6/20借入	4月の米卸売売上高 1-3月期のユーロ圏GDP確報値
6/9 (金)	5月のマネーストック(日銀 8:50) 4月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)	TB3M 63,000億円 6/12発行			

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/5 (月)	700	▲4,100	▲3,400	国債買入 国債補充 CP買入		12,300	46,100	42,700	TB3M発行▲63,000償還63,000
6/6 (火)	1,200	2,000	3,200				0	3,200	
6/7 (水)	300	▲9,000	▲8,700	全店共通	▲7,700		▲7,700	▲16,400	30Y発行▲9,000
6/8 (木)	▲100	2,000	1,900				0	1,900	
6/9 (金)	0	▲5,000	▲5,000				0	▲5,000	流動性供給▲5,000 交付税借入▲13,000期日13,000
週間合計	2,100	▲14,100	▲12,000	—	26,100	12,300	38,400	26,400	

6/5は日銀予想、6/6以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、積み期後半に入っているが、ビッドサイドに取り急ぐ動きは見られず、引き続き▲0.07%近辺で推移することが予想される。債券レポ GC T/N物は、▲0.15～▲0.08%程度での推移が予想される。短国市場は、8日に6M物、9日に3M物の入札実施が予定されている。また、6日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、8日にCP等買入オペが4,000億円で実施予定となっており、レート動向が注目される。

主要なイベントは、国内では、8日に1-3月期のGDP 2次速報(改定値)、4月の国際収支、海外では、5日に5月のISM非製造業景況指数、8日に1-3月期のユーロ圏GDP確報値などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまようようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入